



新町浄化センター - 昭和47年完成 -

(所在地) 〒800-0064 北九州市門司区松原三丁目6-1 Tel. (093) 381-8502
(面積) 39,479㎡

● 主要設備仕様

設備	仕様・構造	数
汚水ポンプ	133.8m³/分	5台
最初沈殿池	2,120m³/池	3池
反応タンク	(標準槽) 3,780m³/池	2池
	(深槽) 4,200m³/池	2池
主プロワ	4,500m³/時×110kW	2台
	6,180m³/時×140kW	2台
最終沈殿池	(標準槽) 2,249m³/池	1池
	(二階槽) 2,395m³/池	3池
消毒槽	(標準槽) 486m³	1池
	(二階槽) 797m³	1池
濃縮設備	(重力式) 1,184m³	2基
脱水機	(スクレープレス式) 370kgDS/時	2台

● あらまし

新町浄化センターは、分流式(一部合流)として、昭和47年4月に運転を開始しました。現在の処理能力は64,000m³/日で、門司区と小倉北区の一部の下水を活性汚泥法により処理し村中川に放流しています。

● ポンプ場概要

ポンプ場	分流/合流	1分毎の排水能力 (立方メートル)		運転開始	滞水池/調節池 (立方メートル)
		汚水	雨水		
片上	分流	60		昭和49年11月	
門司港	分流 (一部合流)	60	510	昭和49年11月	760
大久保	分流	24		昭和56年11月	
白野江第2	分流	14.4		昭和59年2月	
白野江	分流	14.4		昭和59年2月	



曽根浄化センター - 昭和54年完成 -

(所在地) 〒800-0204 北九州市小倉南区中吉田二丁目10-1 Tel. (093) 473-5822
(面積) 94,374㎡

● 主要設備仕様

設備	仕様・構造	数
汚水ポンプ	260m³/分	6台
最初沈殿池	3,666m³/池	2池
反応タンク	5,940m³/池	3池
	1,980m³/池	1池
主プロワ	7,500m³/時×170kW	3台
	11,400m³/時×250kW	1台
最終沈殿池	3,000m³/池	3池
	1,000m³/池	1池
消毒槽	2,600m³	1池
濃縮槽	(重力式) 1,280m³	2基
脱水機	(スクレープレス式) 418kgDS/時	2台

● あらまし

曽根浄化センターは、分流式として、昭和54年10月に運転を開始しました。現在の処理能力は73,000m³/日で、小倉南区と門司区・小倉北区の一部の下水を活性汚泥法により処理し竹馬川に放流しています。

● ポンプ場概要

ポンプ場	分流/合流	1分毎の排水能力 (立方メートル)		運転開始	滞水池/調節池 (立方メートル)
		汚水	雨水		
吉志	分流	23.8		昭和59年3月	
今津	分流	6.8		平成8年7月	
曽根新田北	分流	31.8		昭和57年12月	
空港北町	分流	2.2		平成17年10月	
竹馬川第2	分流		1,120	昭和61年5月	
竹馬川第3	分流		126	昭和63年8月	
竹馬川第4	分流		498.6	平成元年4月	
竹馬川第5	分流		1,160	平成7年7月	
新手川	分流		75.6	平成6年10月	



北湊浄化センター - 昭和47年完成 -

(所在地) 〒808-0022 北九州市若松区大字安瀬64-15 Tel. (093) 751-1003
(面積) 43,891㎡

● 主要設備仕様

設備	仕様・構造	数
汚水ポンプ	175m³/分	4台
雨水ポンプ	666m³/分	4台
最初沈殿池	(標準槽) 1,264m³/池	2池
	(二階槽) 2,466m³/池	2池
反応タンク	(標準槽) 2,520m³/池	2池
	(深槽) 3,000m³/池	2池
主プロワ	3,000m³/時×75kW	2台
	4,800m³/時×130kW	1台
最終沈殿池	5,400m³/時×150kW	1台
	(標準槽) 1,719m³/池	2池
	(二階槽) 1,783m³/池	2池
消毒槽	1,080m³	1池
濃縮槽	(重力式) 1276.5m³	2基
造粒濃縮設備	(調質槽) 1,84m³	2基
	(濃縮槽) 3.78m³ 400kgDS/時	2基
脱水機	(ベルトプレス式) 200kgDS/m時	2台

● あらまし

北湊浄化センターは、合流式(一部分流)として、昭和47年4月に運転を開始しました。現在の処理能力は44,000m³/日で、若松区と八幡西区の一部の下水を活性汚泥法により処理し新栄盛川第一支流に放流しています。

● ポンプ場概要

ポンプ場	分流/合流	1分毎の排水能力 (立方メートル)		運転開始	滞水池/調節池 (立方メートル)
		汚水	雨水		
中川通	合流	15	504.4	昭和42年4月	
藤ノ木	分流	82		昭和49年4月	
奥洞海	分流	11.1		昭和54年4月	
払川	分流	39.6		平成2年8月	
高須	分流	75.2		昭和54年8月	
響町	分流	3.4		平成19年8月	

■ ビジターセンター(日明浄化センター管理棟)

老朽化した日明浄化センター管理棟の建替えに併せ、水ビジネスの国際戦略拠点となるビジターセンターが、平成27年4月に完成しました。ビジターセンターには、地元企業の技術・製品の展示、国際研修やセミナー開催等の機能を設け、本市の水ビジネスで積極的に活用します。

<主な効果>

◎市民の快適・安全な暮らしの確保

浄化センターの指令塔である管理棟の耐震性能が向上し、災害時にも市民の快適・安全な暮らしを確保します。



ビジターセンター

◎下水道の啓発及び環境学習の推進

次世代を担う子どもたちをはじめ、広く市民に下水道を通じた環境学習の場を提供します。



ジオラマシアター

◎ビジネスチャンス・国際貢献の拡大

ビジターセンターを中心に、人や技術・ノウハウ、最新情報等の往来、集積がより一層加速し、地元企業のビジネスチャンスや国際貢献の機会が拡大します。